

第2学年 学級活動 学習指導案

日時	令和7年2月 14日(金)
	第5校時 13:40~14:30
対象	第2学年 A組 34名 第2学年 B組 35名 第2学年 C組 35名
授業者	教諭 湯本 清人 主任教諭 水野 直子 主任教諭 山口 弘子
場所	2年A組教室 2年B組教室 2年C組教室

- 1 題材名 「新入生 Welcome Project Part2」～円滑な中学校生活を送るための Project づくり～
学級活動(1) 学級や学校における生活づくりへの参画
ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

2 活動目標

- (1) 自分自身の学校生活を振り返ることで、次年度進級したときの最上級生としての心構えを持つ。
- (2) 入学する新入生に対し、自らの姿・振る舞い・行動を見せることで豊玉中学校での生活を身に付けさせて円滑な中学校生活を送ることができるようにするための手引きを計画する。

3 本時の指導

(1) 本時の目標

新入生が円滑な中学校生活を送るための縦割り学級での活動の場面をどのような時に作れるか、考え、企画書を作成する。

(2) 「未来の社会をつくる学びの主体者」の育成のために、指導者が考える本時の授業デザイン

学習指導要領には「学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。」とある。望ましい人間関係を形成し、社会形成能力を養うためには、互いの意見や考えを認め合いながら話し合い、学級としてできることを考えて、合意形成を図ることが必要不可欠だと考える。

豊かな学校生活を創るために、合意形成の実現に触れる場を設定した。昨年度は Welcome Project Part1として、入学したての新入生の不安を解消するために1年間中学校で過ごした経験を語りに行く場を設けた。そこで Part2 では新入生が円滑な中学校生活を送るための縦割り学級での活動を一緒に行う場を設ける。本時の題材として、新入生に、中学校生活を円滑に送ってもらうという課題を設定し、班や学級で互いの意見や考えを認め合いながら話し合うことで、納得解を作成する。

第2学年では年間を通して、学級委員会と班長で形成された計画委員会を定期的に開催し生徒だけで学級会の企画・運営を行ってきた。学校行事や学期の振り返りなど何度か経験を重ねるうちに当初に比べスムーズに進めることが増えてきた。しかしながら、課題として、一部の生徒の働きが大きいという反省もある。そこで本活動では、計画委員会の役割分担だけでなく班員の生徒にも役割を与えるように仕掛けを事前に作った。学級の生徒一人一人が自分のことのように捉えて話し合う今回の活動を通して、生徒たちが将来の豊かな社会づくりに貢献できることを期待する。

4 本題材に関する評価の規準

新入生が見通しをもった学校生活を送ることができるように、上級生ができることを考える題材である。同時にこの活動は、他者と協働して学校生活を考えることにより、学級や学校生活への主体的な参画や諸課題の解決につなげることができる本題材を通してそのような話し合いができるようにする。これを評価の規準とする。

5 授業展開(全3時間)

1校時 (本時)	新入生が円滑な中学校生活を送るための縦割り学級での活動の場面をどのような時に作れるか考え、企画書を作成する。※個人作業ではなく、班で協力して学習をする。
2校時	1校時で出た企画書を学年計画委員会で集約し内容を決定したものを掲示する。 学級で質疑応答を受け、その後役割分担をする。(納得解を受けての動き)
3校時	新学期を目前に控え、詳細を確認する。(企画の確認・振り返り)

6 本時の展開(1/3時)

過程	学習活動 ・重点的な学び(内容)を★で記入	授業デザインの具体	指導上の留意点や仕掛けの工夫 ・評価の視点を※で記入
導入 3分	本時の学習活動の目的の共有	納得解に向けた約束を確認し、学級で意識をして話し合い活動を展開する。	計画委員会が司会をする。 はじめの言葉で今回の学会の目的を確認する。

本時の目標

新入生が円滑な中学校生活を送るための縦割り学級での活動の場面をどのような時に作れるか考え、企画書を作成する。

展開 ① 20分	★①グループごとに企画書を作成する。	・企画書のプリントを班ごとに配布し作成を始める。 ・一人の意見をただ書くのではなく、班員の納得解を得た企画書を作成する。	企画書を作成する際には、「場面」「人数」「時間」「方法」などより具体的な内容まで記入するように指示を出す。 ※ ・納得解を出すために班員と協力して話し合い、企画書の作成ができています。
② 20分	②グループごとに作成した企画書を学級内で提案する。	提案された企画は計画委員会がノートと、ホワイトボードに記録する。	書画カメラを活用し、学級全体が同じところを見て話しを聞けるように教室の机等を配置する。 各班の「ツッコミ」係は必ず1度は提案された企画に対して深まるような質問をする。 ※ ・発表者の様子を観察する。 ・具体的な内容のプレゼンテーションができています。
終末 7分	本時の振り返りを行う。 ・計画委員会から終わりの言葉 ・学級委員会からの講評 ・学級担任からの講評		

